

# **NISweb**

## **取扱説明書**

# 目次

1. はじめに .....	3
2. 機能 .....	4
3. 動作環境 .....	5
4. 機能説明 .....	6
4.1. Main 画面 .....	8
4.2. Image List 画面 .....	9
4.3. Retrieved Image 画面 .....	11
4.4. API Log 画面 .....	13
5. データ表示テーブルのソート機能 .....	15
6. 設定ファイルについて .....	16
6.1. 設定項目 .....	17
6.1.1. サーバ接続設定項目 .....	18
6.1.2. ログ用設定項目 .....	19
6.1.3. 画像用設定項目 .....	20

## 1. はじめに

---

NISweb は、クライアント PC(Linux)から HTTP サーバを通して  
NIS-Elements(以下 NIS)へ指示された API の実行状況をリアルタイムで把握するための  
ソフトである

## 2. 機能

---

本ソフトで確認できる内容は以下のとおり

- 過去に撮影した画像ファイル一覧の表示
- API を通じて撮影した最新の画像ファイルセット
- API 実行結果 Log 内容

### 3. 動作環境

---

OS	・ ・ ・	Windows10
IIS	・ ・ ・	IIS ver 10.0
ブラウザ	・ ・ ・	Google Chrome 64.0

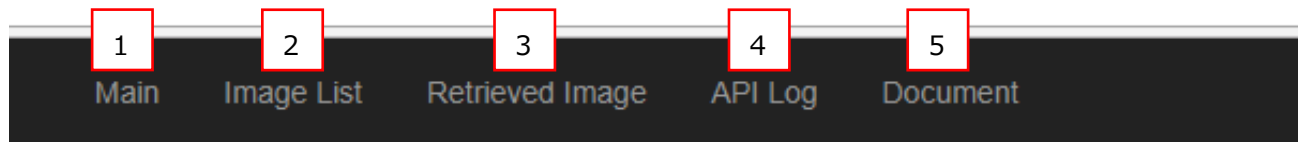
## 4. 機能説明

---

各画面の機能説明を説明する

#### 4.1. 共通ヘッダ

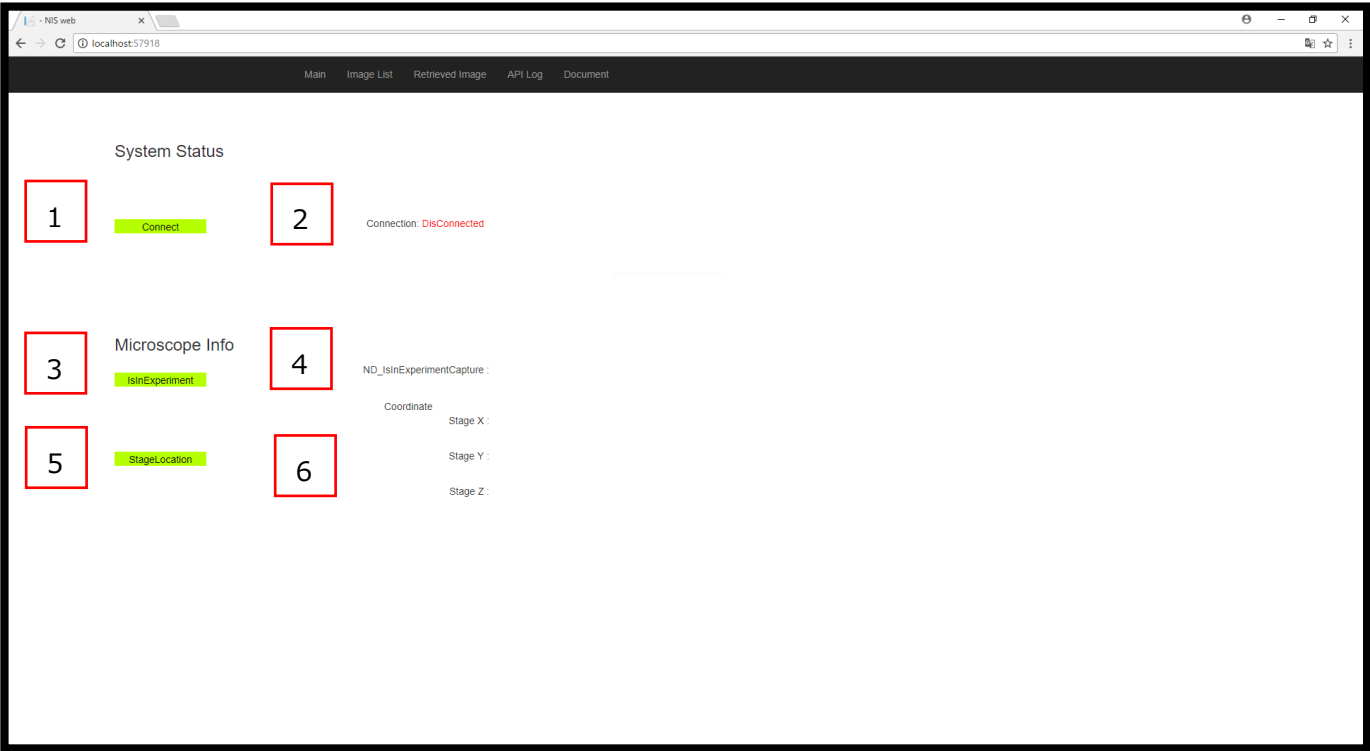
全画面共通で表示されるメニューバー  
各画面の表示と説明書の表示を行う



No.	コントロール名	内容
1	Main	Main 画面を表示する
2	Image List	Image List 画面を表示する
3	Retrieved Image	Retrieved Image 画面を表示する
4	API Log	API Log 画面を表示する
5	Document	NIS web の取扱説明書(pdf)を開く

## 4.2. Main画面

HTTP サーバの起動を確認する  
また、HTTP サーバを通じ、NIS の一部動作状況を確認する



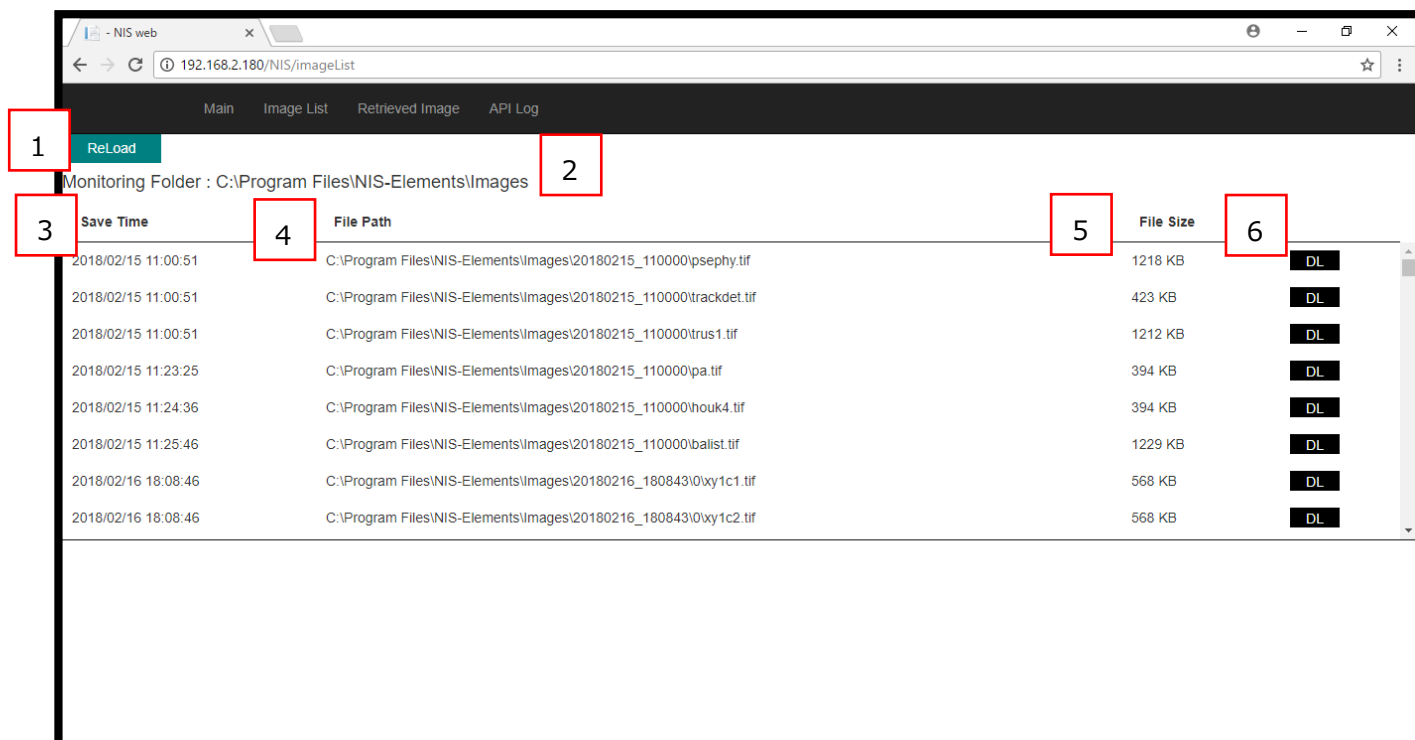
No.	コントロール名	内容
1	Connect ボタン	HTTP サーバの起動確認のリクエストを送信する
2	Connection	NIS と HTTP サーバとの接続状況を表示
3	IsInExperiment ボタン	ND_Acquisition 実行状況確認のリクエストを送信する
4	ND_IsInExperimentCapture	ND_Acquisition 実行状況を表示
5	StageLocation ボタン	現在の顕微鏡 XYZ ステージ座標確認のリクエストを送信する
6	Coordinate	現在の顕微鏡 XYZ ステージ座標を表示



### 4.3. Image List画面

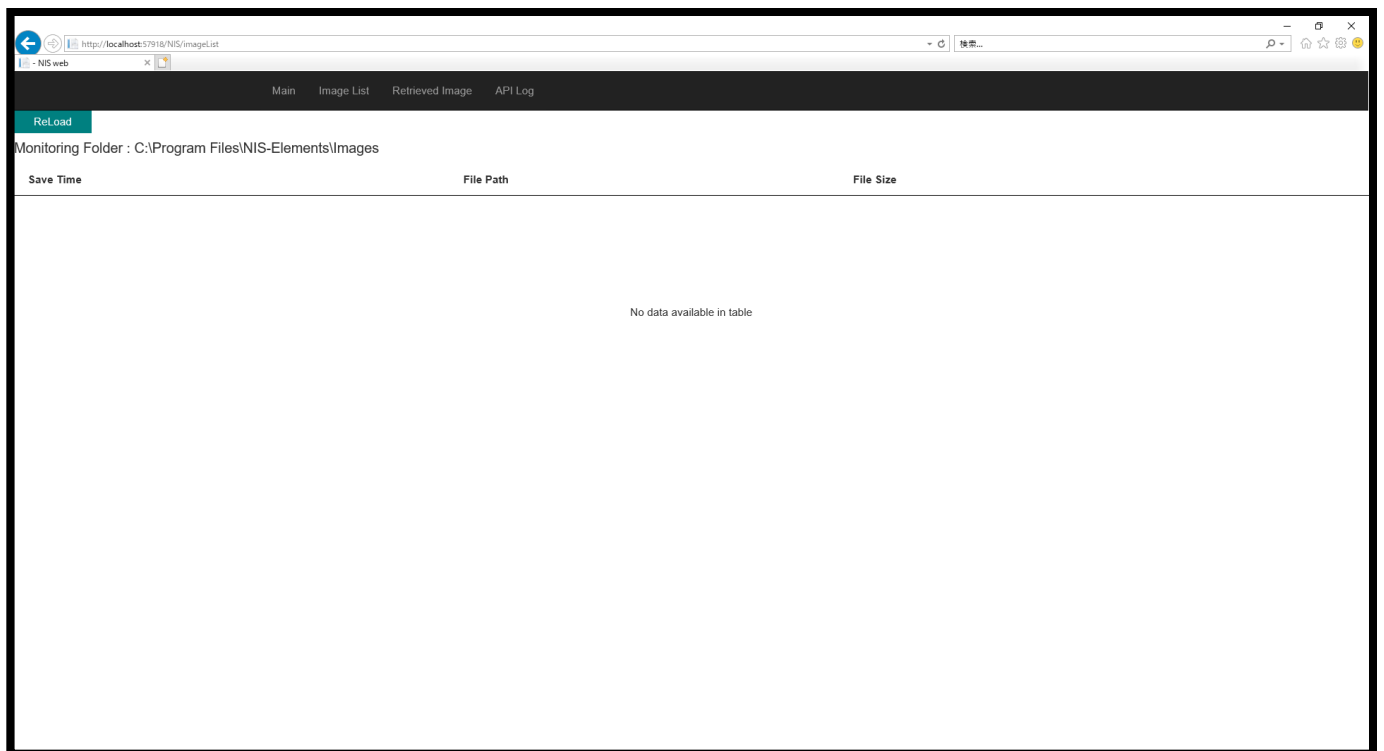
監視対象フォルダ内の画像ファイルを一覧表示する

対象の画像ファイル横の DL ボタン押下によりクライアント PC への画像ファイルのダウンロードが可能



No.	コントロール名	内容
1	Reload ボタン	画面の再読み込みを行い、表示状態を更新する
2	Monitoring Folder	画像ファイルを保存している親フォルダを表示
3	Save Time	画像ファイルの作成日時を表示
4	File Path	画像ファイルの保存先フルパスを表示
5	File Size	画像ファイルサイズを表示(KB)
6	DL ボタン	対象の画像ファイルのダウンロードを行う

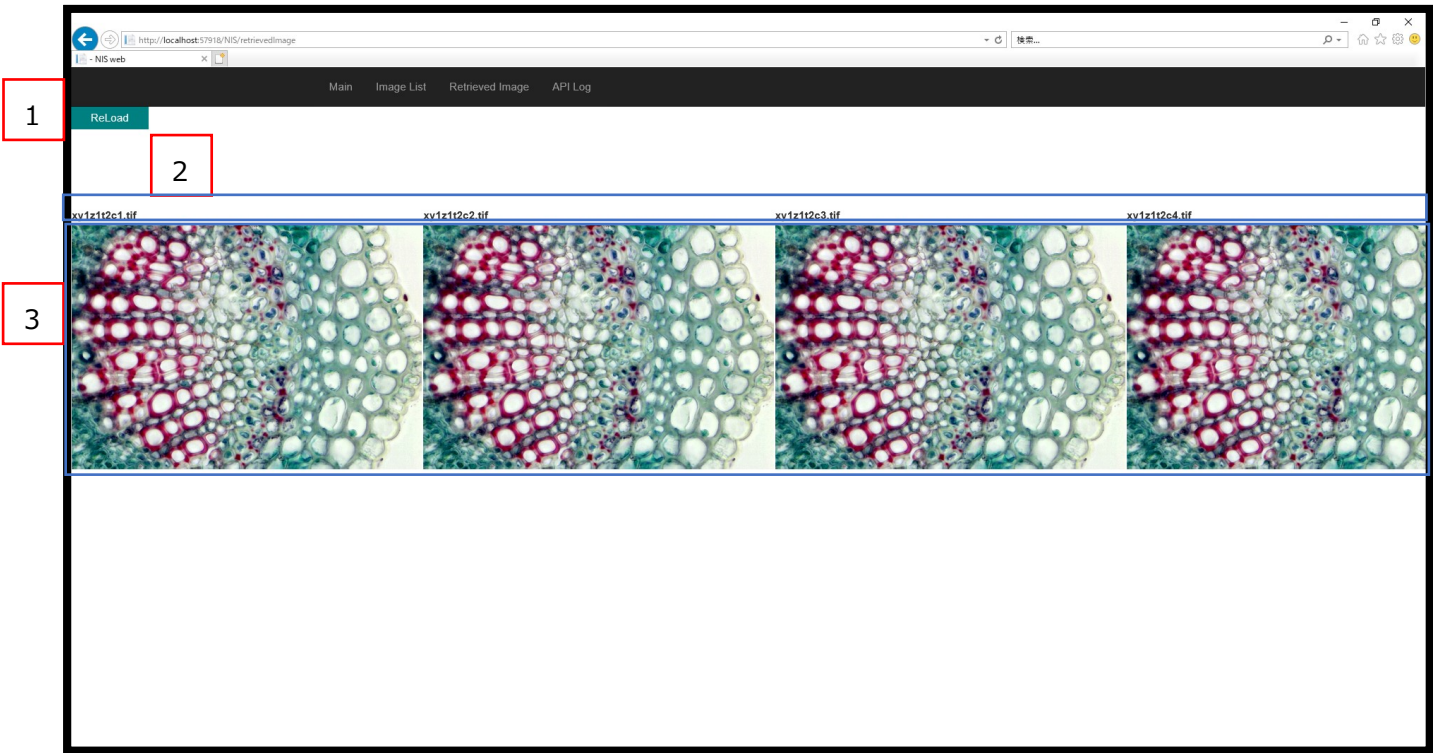
表示データが存在しない場合  
「No data available in table」と表示される



4.4. Retrieved Image画面

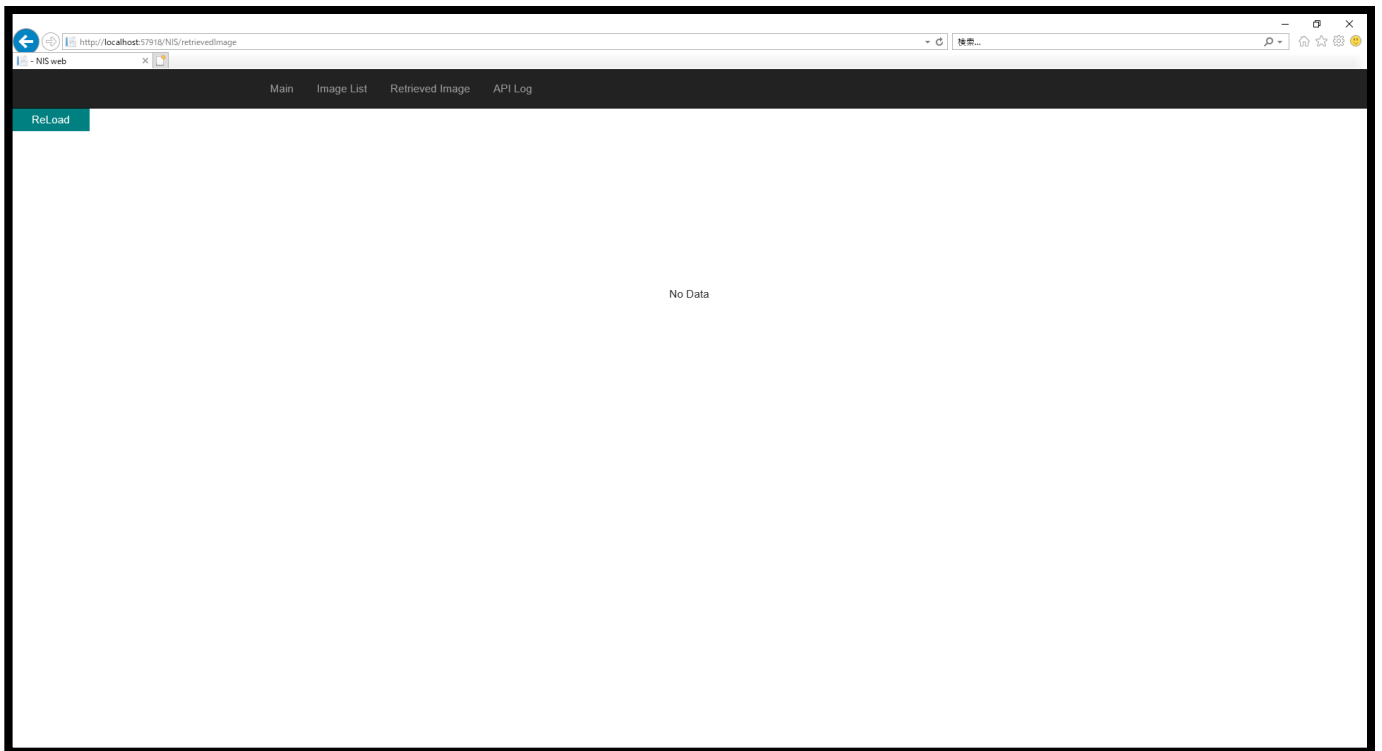
HTTP サーバの API を通じて撮影した、最新画像のセットを表示する  
連続撮影の最中に ReLoad ボタンを押下した場合、  
その時点での画像の xy,z,t のそれぞれの最大値を持つ tif ファイルを取得する

※取得対象ファイルの詳細い説明は  
「Web インターフェース画面設計書.xlsx  
(レイアウト(Retrieved Image)シート 4.表示対象ファイルについて)」を参照



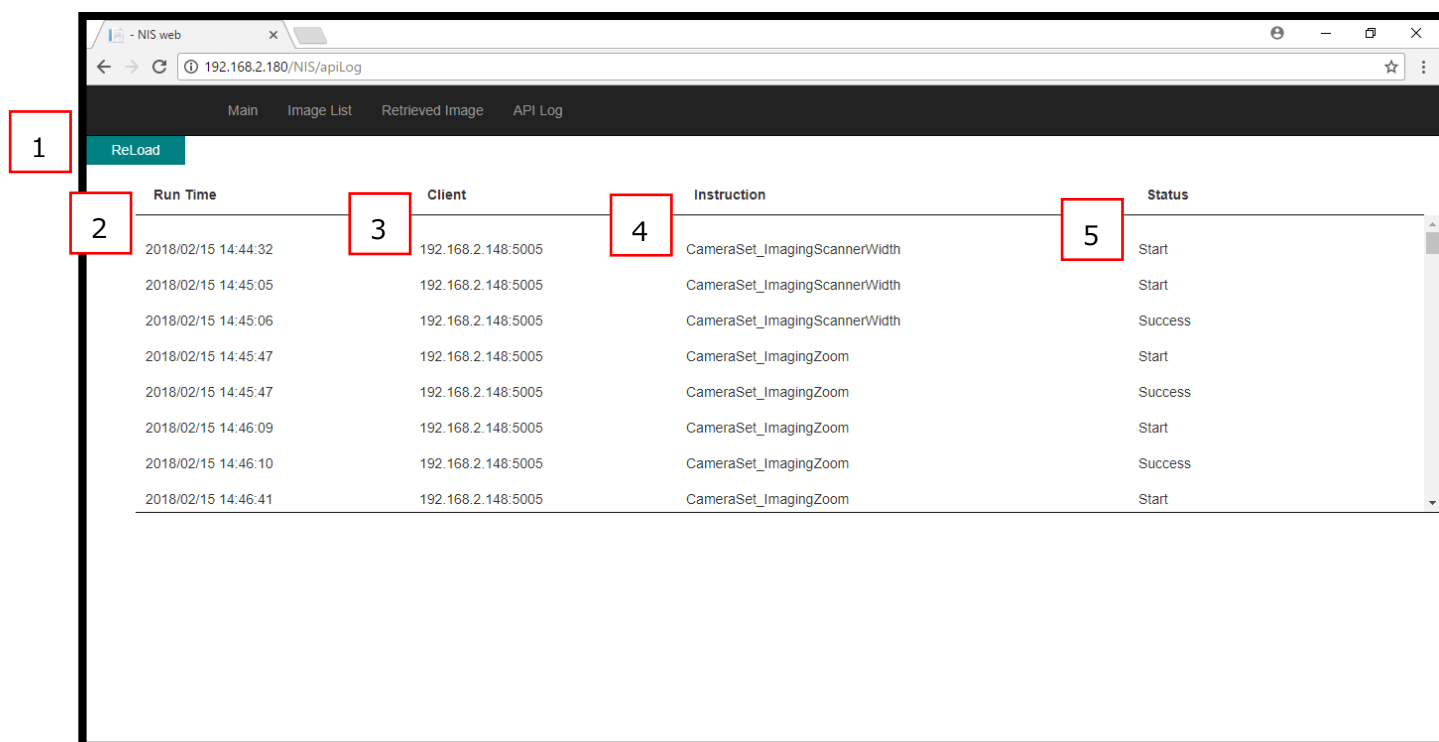
No.	コントロール名	内容
1	Reload ボタン	画面の再読み込みを行い、表示状態を更新する
2	画像ファイル名	対象画像ファイル名を表示する
3	画像表示領域	最新画像ファイルをチャンネル別で表示する

表示データが存在しない場合  
「No Data と表示される」



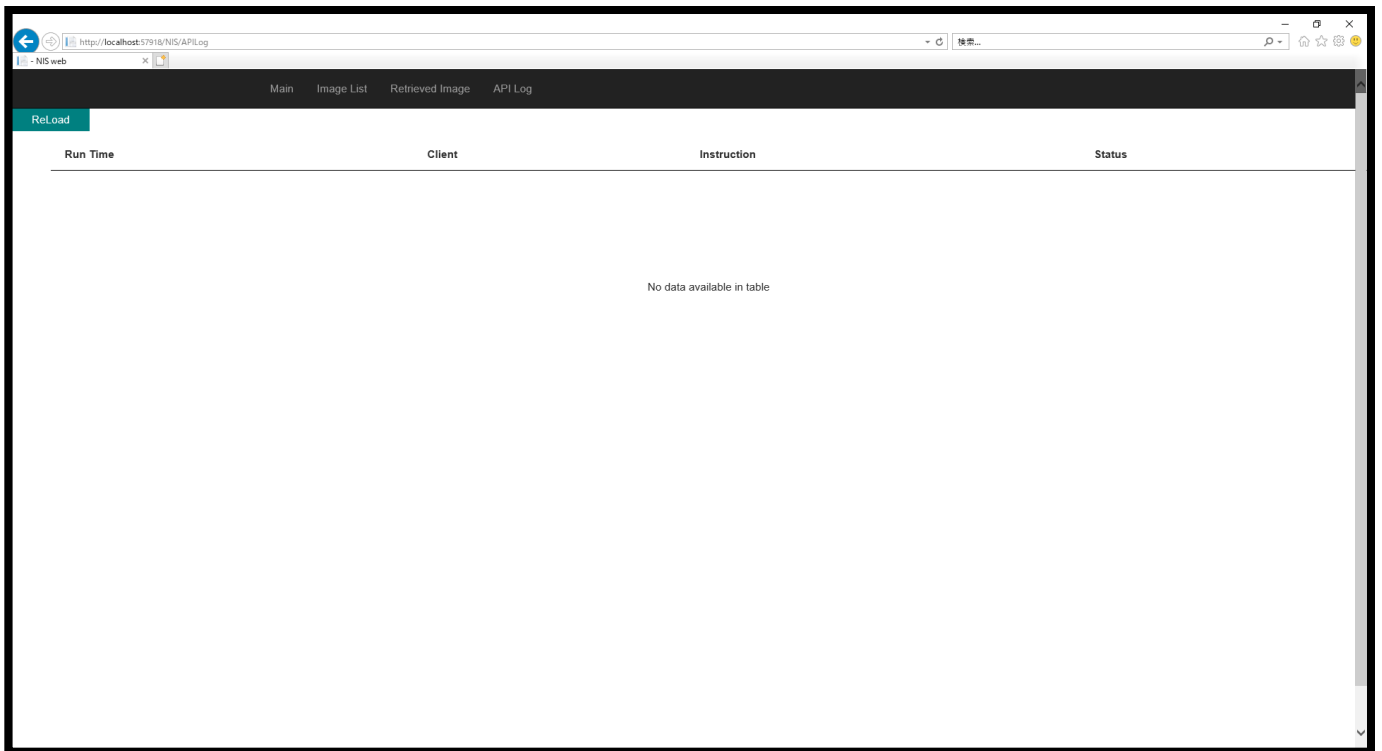
## 4.5. API Log画面

HTTP サーバの API 実行履歴を表示する



No.	コントロール名	内容
1	Reload ボタン	画面の再読み込みを行い、表示状態を更新する
2	Run Time	API 実行開始・終了日時を表示する
3	Client	HTTP サーバへ HTTP リクエストを送信した PC の IP アドレスを表示する
4	Instruction	実行した API 名を表示
5	Status	API の実行結果を表示する


表示データが存在しない場合  
「No data available in table」と表示される



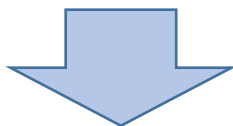
## 5. データ表示テーブルのソート機能

Retrieved Image 画面及び API Log 画面で表示されるデータ表示テーブルは  
クリックした項目名でソートすることができる

ソート前(Run Time 昇順)



Run Time	Client	Instruction	Status
2018/02/15 14:44:32	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingScannerWidth	Start
2018/02/15 14:45:05	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingScannerWidth	Start
2018/02/15 14:45:06	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingScannerWidth	Success
2018/02/15 14:45:47	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingZoom	Start
2018/02/15 14:45:47	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingZoom	Success
2018/02/15 14:46:09	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingZoom	Start
2018/02/15 14:46:10	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingZoom	Success
2018/02/15 14:46:41	192.168.2.148:5005	CameraSet_ImagingZoom	Start



ソート後(Run Time 降順)

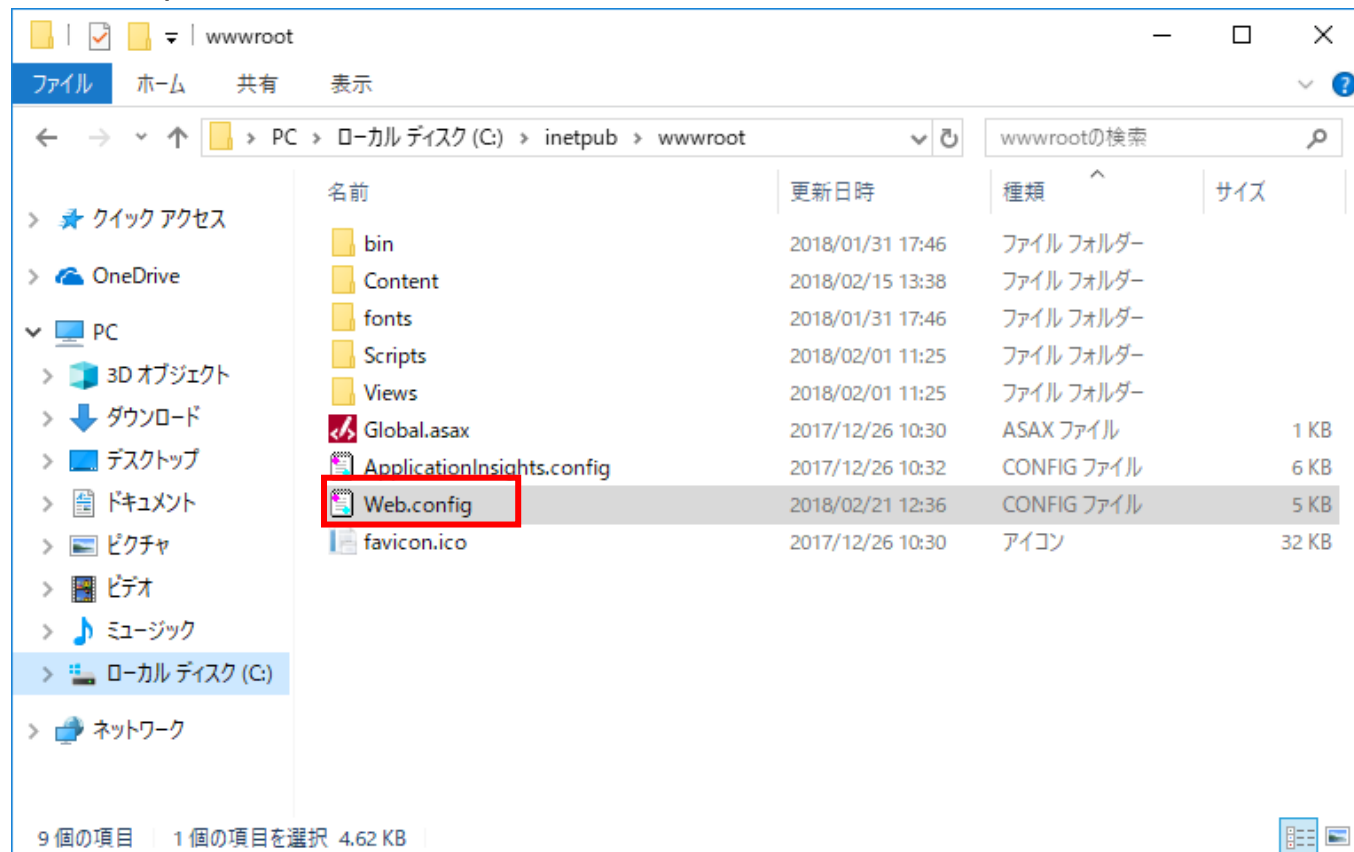
Run Time	Client	Instruction	Status
2018/02/15 15:58:33	192.168.2.148:5005	ND_StimulationAppendPhase	Start
2018/02/15 15:58:03	192.168.2.148:5005	ND_RunSequentialStimulationExp	Success
2018/02/15 15:56:56	192.168.2.148:5005	ND_RunSequentialStimulationExp	Start
2018/02/15 15:55:25	192.168.2.148:5005	Capture	Success
2018/02/15 15:55:12	192.168.2.148:5005	Capture	Start
2018/02/15 15:54:20	192.168.2.148:5005	Capture	Success
2018/02/15 15:54:09	192.168.2.148:5005	Capture	Start
2018/02/15 15:52:54	192.168.2.148:5005	SteCapture	Invalid API Name.

## 6. 設定ファイルについて

Web.config の値を変更することにより、ブラウザでの表示対象となるデータファイルの取得先フォルダの変更を行うことができる

### ■ Web.config の格納場所

「C:¥inetpub¥wwwroot」





## 6.1. 設定項目

---

HTTP サーバとの接続に使用する項目と、データ取得先/データ出力先フォルダ指定の 2 つに分けられる。

以下、項目毎に説明を行う

### 6.1.1. サーバ接続設定項目

---

#### ■ Web.config 該当箇所

```
<appSettings>  
    <add key="IP" value="192.168.2.180" />  
    <add key="Port" value="5005" />  
</appSettings>
```

Key 名	内容
IP	サーバ IP アドレス
Port	サーバポート番号

#### ■ 説明

HTTP サーバと接続するための HTTP サーバの IP/Port 設定

## 6.1.2. ログ用設定項目

---

### ■ Web.config 該当箇所

```
<appSettings>  
    <add key="LogPath" value="C:¥Program Files¥NIS-Elements¥logs¥API"/>  
    <add key="ServerLogPath" value="C:¥inetpub¥wwwroot¥Content¥Logs"/>  
</appSettings>
```

Key 名	内容
LogPath	HTTP サーバが API 実行時に作成する Log ファイルを保存するフォルダ
ServerLogPath	NISweb が上記ファイルを保存するフォルダ

### ■ 説明

NISweb の API Log 表示画面にて HTTP サーバの API 実行状況を確認するため、LogPath に記載したフォルダから ServerLogPath に記載したフォルダに API 実行 Log を取得し、内容をブラウザにて表示を行う設定

### 6.1.3. 画像用設定項目

---

#### ■ Web.config 該当箇所

```
<appSettings>
<add key="LocalImagePath" value="C:¥Program Files¥NIS-Elements¥Images" />
<add key="ServerImagePath" value="C:¥inetpub¥wwwroot¥Content¥Images"/>
<add key="ServerCurrentImagePath" value="C:¥inetpub¥wwwroot¥Content¥CurrentImages"/>
</appSettings>
```

Key 名	内容
LocalImagePath	HTTP サーバが API 実行時に作成する画像ファイルを保存するフォルダ
ServerImagePath	DL ボタン押下時にダウンロード先となる画像保存フォルダ
ServerCurrentImagePath	HTTP サーバの API 実行により作成した最新画像ファイルの取得先フォルダ

#### ■ 説明

HTTP サーバが作成した画像ファイルをブラウザで表示、ダウンロードを実現するための設定